

## 新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言を受けて

新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言を受けて、社会活動が抑制される中、この広報誌の原稿依頼も当分、かがわ自主ぼう参加組織による原稿になることをご了知おき願えればと思っています。

まず今月は丸亀市川西地区の防災計画の概要を紹介したいと思います。この地区防災計画、先日過去の活動記録をひも解いていきますと、すでに平成19年3月に完成し、当時の香川県防災局危機管理課、丸亀市の防災対策室、丸亀市消防本部の皆様、更には香川大学 長谷川先生にも内容説明が終了していました。

当時の活動記録を読み取っていきますと、今から13年前なのによくぞ頑張ったものと我ながら感服しました。内容を改めて読んでみて充実したものでありました。

さて、直近に作成(2018年6月作成 2020年3月丸亀市防災会議にて承認)した「川西地区、地区防災計画」の骨子は次のとおりです。

- ・第1章 計画の策定にあたって
- ・第2章 避難行動計画
- ・第3章 安否確認と救出・救護計画
- ・第4章 避難所の設営と運営
- ・第5章 たきだしと食料の調達
- ・第6章 備蓄計画
- ・第7章 資金計画
- ・第8章 資機材の維持管理業務
- ・第9章 実践と振りかえり
- ・第10章 防災活動の体制
  - ・ 平常時の体制 ・ 災害時の体制
  - ・ 復旧・復興時の体制



備蓄飲料水搬入作業

以上の骨組みにおいて地区防災計画を策定しましたが、平常時から約35名の会員が動き回っており、実践力が備わっていること、ただちに招集かけると集結できるマンパワーと東日本、熊本、真備町への災害支援による対応能力の良さはどこにも劣ることがないと自負しているところです。

ハード面においても、ライフライン対策、とりわけ自家発電の整備に力を入れてきました。ここ数年は要配慮対策にも、こまめに実施。

自宅治療において酸素吸入を行なっている家庭用としてインバータ機能付小型発電機 3 台補強、ポータブル型トイレ 3 セット、段ボールベッド 15 セット、更にはエアマット 60 セットと段ボールパーテーション 150 セットと災害弱者といわれる人への対策も実施してきました。

避難生活に入りますと、避難所での生活用品が必要となることから、

- 毛布 450 枚、床用マット 25mm 200 枚、
- バスタオル 200 枚、普通タオル 200 枚
- 下足箱（移動用）120 人分

最近では、女性目線での整備が必要と香川大学主催のシンポジウムで教えられ…

- ・女性専用の更衣室（組立タイプ）
- ・女性用の洗濯機、物干し場の確保
- ・下着類（男性、女性用各 100 人分）

炊き出し用の紙食器、熊本での復興支援の折、現地の避難所で完全に不足しておりましたので 200 人避難×7~8 日間耐えられるだけの紙食器類をとりそろえています。

熊本体験で避難生活での健康管理の観点から、1 日 4~5 回歯をみがくことを含めた運用マニュアルの見直しと歯ブラシ 300 コ整備しています。

何時も災害現場で目にするのは「飲み水」で 3~4 日苦勞している現実です。現在 20×6 本入り、2,000 ケース常備と 1 日浄水能力 5 t の浄水器も用意しております。もちろん玄米も 200 人避難の 7~8 日間を凌ぐ量を用意（約 30k 玄米 17 袋）、缶詰も 5 種類 1500 缶。最近ではおみその備蓄品を用意しているところです。

このように、いろんな角度から非常時に備えておく事がいかに大切か、このたびの新型コロナウイルスの感染対策で十分お分かりになったと思います。

私達のまち「川西」は防災活動で培われた地域力で自治会加入促進活動&森林の再生事業にも取り組んでいます。

以上、川西地区の地区防災計画の概要を紹介させていただきましたが、このようなダイナミックな活動を展開することになれば「活動資金」が必要です。川西においては、企業 25 社のご支援と自治会の皆さんの活動資金によって成り立っています。

関係者の皆さんに「ご理解」をいただく行動も必要になってきますが、今回のプレゼン資料を自主防災活動に生かしていただければ幸いです。



今月は事務局を担当している川西地区の近況を紹介したいと思います。

## 川西地区のホットニュース

1. 第6回ジャパン・レジリエンスアワード（日本国土強靱化大賞）の受賞団体の発表が本年3月17日に行なわれ、丸亀市川西コミュニティ組織が準グランプリ金賞を受賞しました。

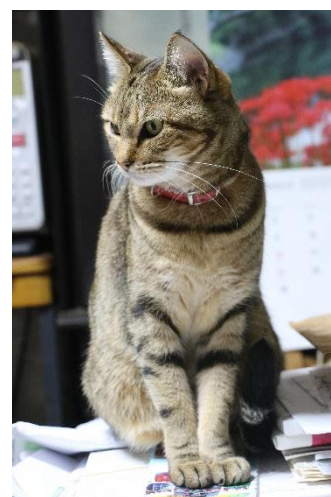
- ・活動テーマ：新たなる共助のワク組みによる自治会加入率 V 字回復とまちの安全対策の強化
- ・活動内容：地域活動の基礎・基盤である自治会加入を1,050世帯から1,600世帯まで拡大させ、併せて通学路の防犯灯整備やゴミステーションの適正配置と危険か所の落下防止対策の取組みが評価されたものです。

例年なら東京で表彰式と事例発表等が関係大臣出席のもと行なわれていますが新型コロナウイルスの感染対策により、延期されています。



2. 日常生活にも周囲に対する配慮が！

雑草が元気よく成長するこの季節、あちらこちらで見かける除草剤の散布、この除草剤も生命を奪うこととなります。私（岩崎）が東日本と熊本震災支援活動の期間中、留守宅を守ってくれた我が家の猫（クウちゃん）がこの除草剤によって命を落としました。私達に知らせることなく我が家の回りに除草剤を散布、急激に劣える猫、病院のICUにも世話になりましたが、厳しい結末をむかえ、我が家も大変なショックを受けているところです。ご近所に対する心くばりを忘れない市民生活を願うものです。



## 編集後記

5月の防災減災の輪は、新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言を受けて、かがわ自主ぼう連絡協議会内の原稿を掲載いたしました。